

教科	社会科	単元名	ヨーロッパ人との出会いと全国統一
----	-----	-----	------------------

本時のねらい

・ヨーロッパの人々が日本を含めたアジアに来航してきた理由を、これまで学んできた中世ヨーロッパの動きと関連させながら説明することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

情報活用能力のうちの「情報の収集」「整理・分析」について重点的に育成するために、以下の3つの環境を設定する。

- ①情報の収集源を共有できる環境(情報の収集する力の育成のために)
⇒スプレッドシートで各自が調べたサイトや教科書を含めた書籍などの情報を参照できる環境をつくる。
- ②他者と自分の考えを比較できる環境(情報を整理・分析する力の育成のために)
⇒Canvaでは、自分の考えを発信し、集めた情報を思考ツール(Yチャート)を活用して整理・分析するワークを設定する。
- ③最後のまとめの場面では、今回習得をめざすメインスキルではないため、Canvaのテンプレート(プレゼンテーションの自己紹介テンプレートを使用)を活用してまとめやすいようにしている。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google クラウドスライド ・Google スプレッドシート ・Canva

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学びを振り返る。 ⇒これまで実施したワークなどのデータを振り返る。 ・本時のめあて(問い)を確認する。 ⇒ヨーロッパの人々が日本に来航してきたのはなぜだろう？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の学びがポートフォリオ化されてデータとして残っているので、これまでの学びを振り返りやすい。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・(情報の収集)3つの仮説を書き出す。 ⇒「友だちと相談しながら」「個人でこれまでの学びを振り返りながら」等、自分の学びやすい環境を設定して、3つ以上の仮説を書き出す。【写真1】 ・(整理・分析)集めた仮説について、班で検討し、情報を整理する。 ⇒Yチャートを用いて、班で整理・分析する。【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ○Canvaのホワイトボード機能を活用し、情報を一元管理しているので、適切な情報を収集しやすい環境が整っている。 ○クラウド上での作業となるため、自分の仮説を班のメンバーに瞬時に共有できることから、その後、すぐに整理・分析していける環境を整えることができる。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・(まとめ・表現)自分の考えをまとめる。 ⇒整理・分析した情報をもとにしながら、めあて(問い)に対する自分の考えを表現する。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめ・表現に関しては、今回習得をめざすメインスキルではないので、すぐに書き込めるようにCanvaのプレゼンテーション機能のテンプレートを活用して入力しやすい環境を整えている。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】自分の学びを振り返りながら仮説を立てているようす



【写真2】班で情報を整理・分析しているようす



【写真3】めあて(問い)に対する自分の考えをポスターにまとめているようす

児童生徒の反応や変容

生徒たちは、情報を整理・分析する手段として、ホワイトボード機能や思考ツール等を活用していくことが有効であるということに気づくことができました。この効果もあり、総合的な学習の時間では、生徒から「Canvaを使っても良い？」などと教員に提案してくる姿が少しずつ増えてきています。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレットの活用の目的は情報活用能力の育成であり、今回はその中でも「情報の収集」「整理・分析」に特化した活用方法を意識しました。スプレッドシート、Canvaと、それぞれにしっかりと活用の目的をもたせることを意識しました。目的を明確化することで、生徒たちにも、どのような情報活用能力を身につけるための活動かについて、わかりやすい実践になると思います。